



【第45期初級陸曹特技課程「准看護師」卒業式】

令和4年3月2日

3月2日（水）、自衛隊札幌病院准看護学院（学院長 高橋 1 佐）は、北部方面総監部から医務官小林 1 佐、防衛部訓練課長椋木 1 佐、人事部人事課長瀬尾 1 佐のご臨席を賜り、第45期初級陸曹特技課程「准看護師」25名（男性10名、女性15名）の卒業式を挙行了した。

卒業にあたり病院長（鈴木陸将）は、「諸官は本日卒業と同時に、部隊において第一線救護を中心となって担う、衛生救護陸曹としてのスタートラインに立ちます。これからは常に、この役割を全うするという「使命感」と准看護師の資格を持ったプロフェッショナルであるという気概を強く持ち地道に「日々の努力」を重ねて自分自身の能力向上を図り、仲間に信頼される衛生救護陸曹に成長して欲しいと思います。この真駒内の地で育った、精強な札幌准看卒業生の誇りと自信を胸に、大きく羽ばたいていくことを期待します。」と訓示した。

准看護学院長は、「教育を終えた諸官には大きな成長を感じる。新天地において自らの任務分析を行い、やるべきことをやることが大切であり、その一步一步が今後の成長につながる。感謝を忘れたところに進歩、成長はありえません。人との出会いを大切に、感謝の心を持ち、今日の自分より明日の自分に成長がみられるよう、日々の努力を継続してほしい。」と式辞を述べた。

北部方面総監部医務官（小林 1 佐）は、「札幌准看での教育は諸官らの確固たる礎として、困難を乗り越える原動力となる。そして部隊における経験が諸官らをさらに大きく成長させてくれる。困難を恐れずどんどん挑戦を続けてください。多くの人に感謝される側になり、いかなる環境下においても任務を完遂し得る衛生救護陸曹として大きく成長してほしい。」と祝辞を述べられた。

学生代表（澤村 3 曹）は、答辞において、本教育間病院長をはじめとするお世話になった病院職員への感謝を申し述べるとともに、「これからの勤務への抱負として、自衛隊札幌病院准看護学院の伝統に誇りを持ち、衛生救護陸曹としてより一層の努力と研鑽を続けて行きます。」と誓い、多くの病院職員に見送られて、北は旭川から南は健軍までそれぞれの任地へ旅立った。

なお、方面総監賞を澤村 3 曹、病院長賞を榎本 3 曹、学院長賞を黒坂 3 曹、平野 3 曹の合計 4 名が受賞した。



思いを胸に卒業式に臨む学生



病院長 訓示



卒業証書授与



准看護学院長 式辞



北部方面総監部医務官 祝辞



集合写真